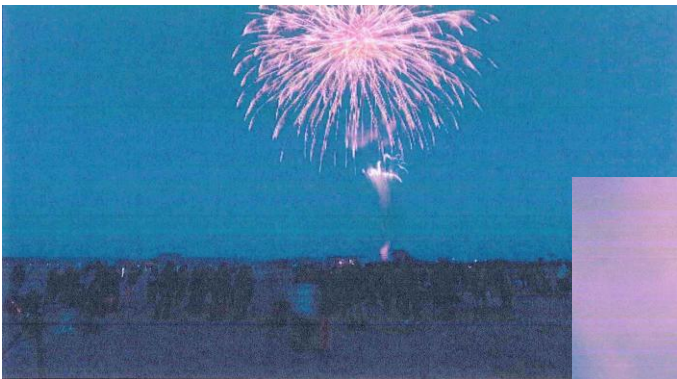


助成受給団体名	ふりがな さくらさんてんいちいちぶろじえくとじっこういいんかい 桜 3.11 プロジェクト実行委員会
事業の名称	植樹による地域再生と防災防犯教育事業
実施期間	「覚書」第2条で定めた期間を書いてください。 平成 25 年 11 月 1 日～同 26 年 7 月 31 日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
<p>桜 3.11 学校プロジェクトは、25 年度助成により 26 年 3 月 11 日福島県いわき市立久之浜第一小学校と 7 月 17 日岩手県山田町立大浦小学校で事業を実施した。本事業は「忘れないが一番の防災」と植樹・関連事業（関連事業）・桜花火を主な内容とし、事業実施により震災の被害を忘れない仕組みを作ることを目的としている。地域コミュニティの中心である学校での実施により、地域と広く連携を計りながら計画実施をし、事業の効果が広く浸透する事を目指している。</p> <p>事業は事前に広く告知していることもあり、桜花火には児童を含め地域住民の多数の参加があった。（久之浜第一小学校児童数 164 名に対して 200 名、大浦小学校児童数 41 名に対して 150 名の参加）5 分～10 分の短い時間ではあるが、目の前で花火が上がる経験はなかなかなく、記憶に残る事業になっていると思われる。</p>	
事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
<p>久之浜第一小では、瓦礫が撤去された後の何もなくなった久之浜に 200 人が集まり花火を楽しんだ。「震災後、この浜でこども達が遊ぶのは初めてです。」と話す保護者。翌日、「遠くから花火を見た。感動した。」との電話が学校に何本も入った。</p> <p>大浦小学校は、仮設住宅がすぐ隣にあることから住民の皆さんが気軽に声を掛け合って参加してくれた。「ここで花火は初めて」と大変喜んでくれた。</p> <p>いずれの場合も、引きこもりがちなお年寄りから難しい年頃の中高生まで、沢山の人の参加が得られた。同じ感動を共有し、再びコミュニティとしての連携を強める事ができた。それは、安全安心なまちづくりの大きな一助になったと確信する。</p>	
今後の課題	
<p>HP 等ウェブのみならず積極的な事業報告により、より一層の周知が必要と考える。また、安定した活動のためには資金調達も大きな課題である。</p>	



2014.3.11 福島県いわき市久之浜海岸にて



2014.7.17 岩手県山田町大浦小学校にて